

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	海川 敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 42
分水嶺区分	H227吉堀隧道 ~ H225焼山	(3) 山行日:	2004年	4月	6日	(4) 天候	曇

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川 敏雄	10981						
計				1名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	木古内町の道道5号線の吉堀隧道上から北東方向へ約7km、焼山まで。												
アプローチ:	函館 ~ 木古内(道道5号) 吉堀隧道 まで車で入る。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	吉堀隧道の脇	神明	140	18	19	41	42	50	189		5:55		
分水嶺到達点 H227	吉堀隧道上	"	140	18	14	41	42	51	232	6:03	6:05	A-2	1
	稲穂トンネル上	"	140	18	30	41	43	3	250	6:13	6:15	A-2	1
	P257	"	140	19	7	41	42	58	252	6:38	6:40	B-4	1
	282m地点	"	140	19	40	41	43	13	282	7:15	7:20	B-4	1
H226	P299	"	140	20	7	41	43	21	300	7:48	7:55	B-4	1
	P308	"	140	20	38	41	43	55	306	8:35	8:40	B-4	1
	283m地点	"	140	20	43	41	44	8	283	9:28	9:30	B-4	1
分水嶺離別点 H225	焼山	"	140	20	47	41	44	53	389	10:20	10:40	B-4	2
歩行終了点	吉堀隧道の脇	"	140	18	9	41	42	50	189	16:00			
総歩行時間(休憩時間を除く):												9時間	
分水嶺距離:												7.5km	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H226	299				積雪約1m、三角点は確認不能。
H225	焼山				同上

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

1. 樹木はほとんどがブナで、ところどころにトドマツが植えられている。 2. 広々とした、なだらかな傾斜を持つ台地状の山で、ミズナラ、ブナに被われている。

(10) その他の特記事項

沢が複雑に入り組んでいて、読図に苦労した。積雪は50cm~1mで、ところどころ溶けて藪が露出しており、藪こぎを強いられた。地図を読み違え、往路P308~283m地点の間で約20分、復路P299~P257間で1時間、ロスした。往路の藪こぎの場所には、目印のテープを付けておくべきだった。油断禁物、この点を反省している。また、すでに熊が出没しており、足跡が多く見られた。全行程、鈴を鳴らし続け、心身共に疲れた山行だった。ワカン使用。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: